

高校地理プリント（過去問類似）
地理B（旧課程の過去問） No.10

名前

得点

/10

問1 オランダのランスタットやドイツのルール地方のように、隣接する複数の都市が拡大にともなって市街地を連続させ、一体化した都市地域を形成する現象、またはその地域を指す地理学用語を答えよ。（2016年 全国公立入試 類似）

1. フリンジベルト 2. メガロポリス 3. インナーシティ 4. コナベーション

問2 北ヨーロッパに位置するフィンランドの公用語は、隣国であるスウェーデンやノルウェーなどのゲルマン系の言語とは系統が異なり、ハンガリー語などと同じ系統に分類される。この語族の名称を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. ウラル語族 2. スラヴ語派 3. ケルト語派 4. バルト語派

問3 1991年のソ連解体後、ロシアをはじめとする旧ソ連諸国や東欧諸国では、国家が中央集権的に生産や流通を管理する体制から、個々の経済主体が自由な取引を行い、価格メカニズムによって資源配分が決定される体制への移行が進められた。この移行期の混乱により、各国では一時的に激しいインフレや生産活動の低下が見られた。この移行先の経済体制を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 統制経済 2. 混合経済 3. 市場経済 4. 計画経済

問4 ドイツ東部の工業地域において、伝統的な重化学工業の発展を支えたエネルギー資源であり、水分や不純物が多く発電効率が低いため、近年は環境負荷の観点から段階的廃止が進められている鉱物資源は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 石炭 2. 亜炭 3. 褐炭 4. 泥炭

問5 南半球の1月において、アジア大陸の冷涼な高気圧から吹き出した北東の風が赤道を越え、地球の自転の影響で左に曲がりながら南インド洋の低緯度地域に北西の風として吹き込む。このように、大陸と海洋の温まりやすさの違いなどを原因として、季節によって風向がほぼ反対になる風の総称を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 偏西風 2. 貿易風 3. 季節風 4. 極東風

問6 オーストラリアのシドニーにあるダーリングハーバーなどでは、産業構造の変化に伴って役割を終えた古い港湾地区を再開発し、オフィスビルや商業施設、観光・レクリエーション施設などを整備して地域の活性化を図る事業が行われた。このような臨海部を対象とした都市再開発手法を何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. ウォーターフロント開発 2. インナーシティ開発 3. コンパクトシティ開発 4. ニュータウン開発

問7 九州地方北部に位置する平坦な低地では、夏の温暖な気候を利用した主食用の穀物栽培と、冬から春にかけての裏作としての穀物栽培を組み合わせた農業経営が盛んに行われている。このような、同一の耕地において1年のうちに2種類の異なる作物を栽培する農法を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 二毛作 2. 二期作 3. 三期作 4. 三毛作

問8 火山島が沈下するのに伴ってサンゴが上方に成長し、中央の島が完全に水没した結果、外周のサンゴ礁のみが円環状に残され、内側に浅い海（礁湖）が形成された地形を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 環礁 2. 裾礁 3. 台礁 4. 堡礁

問9 ヒマラヤ山脈から南へと流れる大河の下流、現在のバングラデシュからインド西ベンガル州にかけての地域には、上流から運ばれた肥沃な土砂が堆積して形成された広大な平野が広がっている。この地域で盛んな水稲栽培の基盤となっており、洪水被害を受けやすい特徴を持つ、河口部に形成される低平な地形を何というか。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 氾濫原 2. 三角州 3. 扇状地 4. 自然堤防

問10 年間を通じて気温が低く、夏季の融雪がほとんど起こらないため、降水量が少ないにもかかわらず、大陸を覆う大規模な氷床が現在も発達している、北極圏に位置する世界最大の島はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. グリーンランド 2. アリュースシャン 3. ニューブリテン 4. フォークランド

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 4 コナベーション	複数の都市が発展・拡大する過程で、互いの市街地が連結して一体となった都市地域を連接都市（コナベーション）と呼ぶ。単一の巨大都市（メトロポリス）が周辺を吸収して大きくなるのとは異なり、複数の中心都市が独自の機能を保ちながら並存・結合する点に特徴がある。
問2	答え 1 ウラル語族	ヨーロッパで話されている言語の多くはインド・ヨーロッパ語族に属するが、フィンランド語、ハンガリー語、エストニア語などはウラル語族に分類される。そのため、地理的に隣接するスウェーデン語やノルウェー語（ゲルマン系）とは言語系統が全く異なる。
問3	答え 3 市場経済	ソ連解体前の旧ソ連諸国では、国家が生産量や価格を決定する計画経済が採用されていた。しかし、1991年のソ連解体に伴い、自由な取引と価格競争を基本とする体制への移行（市場経済化）が急進的に進められた。この移行期には、価格の自由化によるハイパーインフレや、従来の流通網の崩壊による生産減少など、経済活動の著しい低下と混乱が生じた。
問4	答え 3 褐炭	ドイツ東部（ザクセン地方など）の工業地域は、露天掘りが可能なこの資源の炭田地帯に位置し、かつてはこれを燃料とする火力発電や化学工業が発達した。しかし、二酸化炭素排出量が多いため、ドイツ政府は気候変動対策としてこの資源を用いた発電の廃止を進めている。
問5	答え 3 季節風	季節によって風向がほぼ反対になる風を季節風（モンスーン）と呼ぶ。アジア大陸とインド洋・太平洋の間では、夏と冬で陸地と海洋の気圧配置が逆転するため、大規模な季節風が発達する。南半球の1月（夏季）には、北半球のアジア大陸から吹き出した風が赤道を越えて南インド洋に吹き込み、北西季節風となる。
問6	答え 1 ウォーターフロント開発	産業構造の変化や船舶の大型化などに伴い、旧来の港湾施設や臨海部の工業地帯は機能が低下し、遊休地化することがある。こうした臨海部（ウォーターフロント）を対象に、商業施設やオフィス、観光・レクリエーション施設などを誘致して都市の活性化を図る手法をウォーターフロント開発と呼ぶ。シドニーのダーリングハーバーやロンドンのドックランズなどがその代表例である。
問7	答え 1 二毛作	佐賀平野などの九州北部の平野部では、夏の温暖な気候を利用した水稲栽培と、冬の裏作としての大麦・小麦などの麦類栽培を組み合わせた二毛作が盛んに行われている。これは同一の耕地を高度に利用する代表的な土地利用形態である。
問8	答え 1 環礁	サンゴ礁は発達段階に応じて、島に密着した裾礁、島と島との間に礁湖（ラグーン）を持つ堡礁、そして島が完全に水没してリング状の礁だけが残る環礁へと変化する。太平洋のマーシャル諸島やモルディブなどに多く見られる。
問9	答え 2 三角州	河川が河口付近に土砂を堆積させることで形成される低平な地形を三角州（デルタ）と呼ぶ。ガンジス川の下流域には世界最大規模の三角州が広がっており、肥沃な土壌を活かして水稲栽培が盛んに行われているが、標高が低いこと洪水や高潮の被害を受けやすい。
問10	答え 1 グリーンランド	氷床は現在、南極大陸とグリーンランドにのみ分布している。これらの地域は極高圧帯の影響で降水量は少ないが、年間を通じて気温が低く、積雪が融けずに累積するため、大規模な氷床が維持されている。